クマ基金助成活動報告書

代表申請者：（氏名）

 （所属・職名）

 （住所：所属先・自宅）

 （電話）

 （E-mail）

 （JBN入会年度）

分担者：１（氏名）

 （所属・職名）

　　　　２（氏名）

 （所属・職名）

　　　　３（氏名）

 （所属・職名）

事業名：

事業期間： 　　年　　月　〜　　年　　月

助成決定額： 　　　円

決算（詳細は「様式３会計報告書」にまとめてください）

備品費 円（1万円以上のもの）

　消耗品費 円（1万円未満のもの）

旅費 円

　謝金　　　　　円

その他 円

　合計　　　　　円

※**使用した経費に掛かる領収書等は全てjyosei@japanbear.orgまで電子データ（PDFや画像等）でお送りください。**お送りいただいた内容をもとに、クマ基金助成活動審査委員会で最終承認を行います。報告や助成金の使用方法に不備がみられた場合には助成額の削減または取り消しとし、返金を求める場合があります。

申請者が学生である場合(該当に丸印)：

本報告書（様式２）および会計報告書（様式３）について指導教官の確認　　有　・　無

助成の対象となる活動区分（該当するものを残して下さい、複数選択可）

１）教育・普及啓発：生態や被害対策等に関わる正しい知識や手法を教育・普及啓発するための教材の開発や普及啓発活動の実践

２）被害対策や生息環境管理の実践：市民や地域による被害対策や棲み分けのための環境保全/管理活動等の実践

３）研究：上記１）、２）や生態解明、保護管理、保全等に関わる調査、研究活動

活動の目的：

※100〜200字程度。原則、申請時の内容を書いていただきますが、助成活動中に変更の必要があった場合はそのことが分かるようにお書きください。

活動の成果：

※1,000字以上で、図表、写真を使いながら報告してください。

※この報告とは別に、ニュースレターでの報告原稿の提出をお願いします（提出期限等については、別途ニュースレター編集委員会から連絡をします）

※活動区分が研究の場合で、成果の公表時期への配慮が必要な場合はご相談ください。

※活動終了後も、本事業について成果発表する際には「日本クマネットワーククマ基金（英語名：Japan Bear Network Bear Fund）」の支援・助成を受けた旨を記載して下さい。